第120回東京税理士会野球大会

祝　優　勝

2大会ぶり
5回目の
快挙

平成27年10月15日　四谷支部を4対0で撃破

素晴らしい仲間たち

優勝までの軌跡

野球部主将　小　田　英　敏

第120回東京税理士会支部対抗野球大会において、2大会ぶり5度目の優勝を勝ち取ることができました。ご声援、本当にありがとうございました。

今春の大会は連覇を目指したものの敢え無くベスト8で敗退してしまい、この悔しさを糧に優勝を目指し一致団結し今大会に挑みました。

1回戦の対戦相手は本郷支部。春の大会のベスト4のチームです。ここ数年、何度も対戦し日本橋支部が勝利しています。そんな油断があったかもしれません。1対0でリードしてむかえた3回に満塁ホームランを打たれて逆転されてしまいました。しかし、春の大会の敗戦から他の支部より練習をやってきた自信があり全く焦らずに試合を進めることができ、結果11対4で勝利、続く二回戦の豊島支部も8対1で勝利し大会1日目を終了しました。

大会2日目の対戦相手は前大会の3位で3大会前に優勝した同じ第一ブロックの麹町支部です。かなりの苦戦を予想していましたが初回に1点を先制、2回には2アウトから打線がつながり6点を追加し優位に試合を運び8対4で勝利しました。続く準々決勝は昨秋の大会の決勝戦で対戦した同じ第一ブロックの好投手を擁する芝支部との対戦。ロースコアの試合になると予想され試合が始まりました。予想通り2回を終わってお互いノーヒットで0対0。試合が動いたのは3回の日本橋の攻撃。相手のエラーからヒット5本の猛攻で一挙6点を先制し、その後は日本橋の好投手が相手打線を1点に抑え6対1で勝利し2日目を終了し

ました。

大会3日目の準決勝の対戦相手は八王子支部。1度も対戦したことがないので、どんな野球をしてくるのか全くわからず、漠然と4試合を勝ち抜いてきた強いチームという印象で試合に臨みました。試合は2回に日本橋が1点を先制したが、その後ランナーはでるもののあと1本が出ずに嫌な流れで迎えた5回の八王子支部の攻撃、日本橋支部の守備に乱れが生じこの回3エラーで3失点、投手の足を引っ張ってしまう結果、5回を終わって3対1。しかし、このままでは終われない終わらせない気持ちで6回に1点をとり、3対2で迎えた最終回、円陣を組み絶対負けない気迫で臨みました。先頭打者がデットボールで出塁すると盗塁と進塁打で2アウト3塁、ここから相手投手が日本橋支部の気迫に押されて、まさかの3連続フォアボールで押し出しの同点、さらに動揺がおさまらないまま投げた初球、暴投でキャッチャーが取れず3塁ランナーが突っ込みクロスプレーになるもタッチを掻い潜りサヨナラゲームで勝利することができました。

試合には勝ちましたが反省することがとても多い試合でした。しかし、トーナメントで勝ち進むためにはこういう試合を乗り切らないと優勝できません。

決勝戦は四谷支部との対戦、試合は準決勝の勢いのまま初回に3点を先制、5回に追加点、投げては先発が散発3安打に抑え4対0で完封勝利しました。

今大会は左右の両エースの頑張りが優勝に導き、最優秀選手賞に今井信吾投手、優秀投手賞に塩谷満投手が受賞し、第120回の支部対抗野球大会は閉幕しました。

うれしい2年ぶりの優勝

毎年優勝しているから、感動が薄れてきていると思われがちですが、そんなことありません。優勝した瞬間の気持ちは何度でも味わいたいと思っています。

来春は未だに成し遂げていない連覇を目指して頑張っていきます。

優勝旗、優勝カップは支部事務局に飾ってあるので、是非、皆様も見に来てください。

優勝監督の一言

野球部監督 **引 地 栄 二**

お陰様で第120回支部対抗野球大会に優勝することができました。これで3年連続、最近6大会で3回目、通算5回目の優勝です。

そして私個人としては過去2年は主将として、そして今年は監督として優勝を経験させて頂き、この上ない幸せを感じております。

今回は監督として一言言わせて頂くと東京税理士会の野球は確実に年々レベルアップしています。

それは、今大会で強豪チームである麻布支部、上野支部、新宿支部が1回戦で、渋谷支部が2回戦で敗退したことからわかります。

我が日本橋支部も1回戦の本郷支部戦と準決勝の八王子支部戦が逆転勝ちでとても苦しい試合でした。ただ、逆境でも負けない底力が付いてきました。その底力を付けるために選手達は貪欲に勝利を求め練習をしています。例えば合宿で外部コーチを招聘し徹底的にバント練習をしたり、練習予定日に雨が降りグラウンドが使えなかったが練習を中止にせず大雨の中、バッティングセンターと箱崎高速下で練習したりしました。

次の目標は、まだ経験したことのない連覇です。次の4月に行われる第121回大会でその目標を達成すべく、これからも練習を続けていきます。

最高殊勲選手賞に選ばれて一言

今井信吾

私は平成27年10月15日に開催された平成27年度東京税理士会第120回支部対抗野球大会閉会式において、「最高殊勲選手賞」に選ばれました。日本橋支部としては、5度目の優勝。私がこのチームに入ってからは3度目の優勝です。今回の大会は天候に恵まれず、2度も延期になり、みなスケジュールが大変だったと思います。

最高殊勲選手、今井投手の気合の1球

ここ3年毎年優勝していますが、ここまでに来るのに決して楽な道のりではありませんでした。練習中に骨折をした選手、試合中に靱帯断裂した選手、仕事の都合でチームを離れた選手、腰痛などで思うように動けない選手もいました。「優勝」だけを夢みながら酒を交わしたこともたくさんありました。それでも、みなチームのために考え、励ましあいながらやってきました。

準決勝の八王子支部戦は、本当に苦戦しました。それでも、チーム一丸となって、最後まであきらめず「優勝」だけを目標に戦いました。

準決勝、劇的サヨナラ

このチームは、チームワークが最高なのです。

引地監督やチームメイトに感謝しています。来春も「優勝」目指しましょう！

優秀投手賞に選ばれて

塩谷　満

この度は第120回東京税理士会野球大会を応援いただきありがとうございました。熱い応援のおかげで決勝戦を完封、優秀投手賞をいただくことができました。

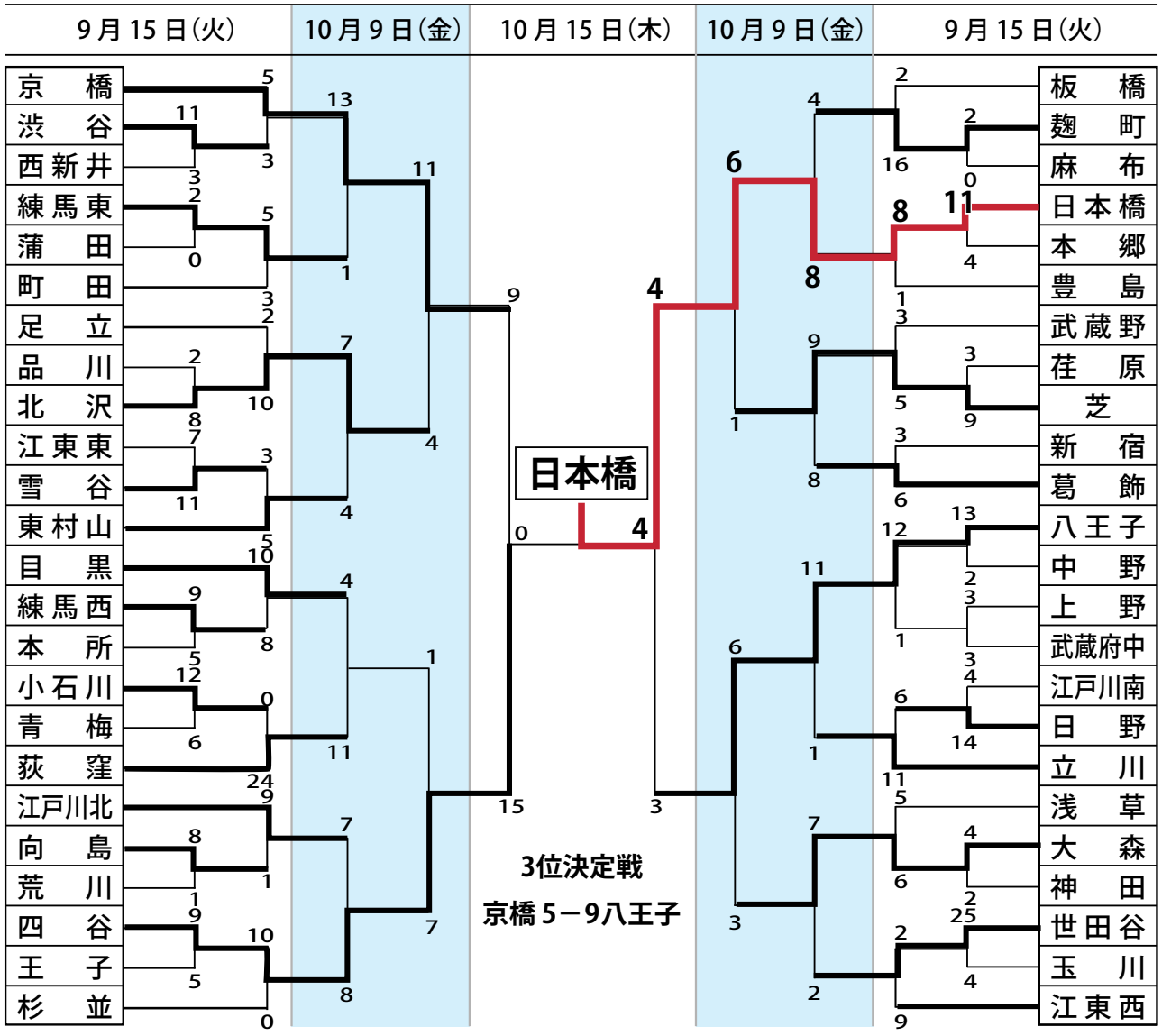
平成25年春の大会で22年ぶりの優勝を果たし、平成26年秋の大会でも優勝した日本橋支部ですが、その決勝の舞台に上がれなかった私は、覚悟をもって今年の大会に臨みました。しかし春の大会は準々決勝敗退、秋の大会の1回戦の本郷戦では満塁HRを被弾。「ダメか。」と落ち込んでいたところを仲間が励まし、監督が粘り強く使ってくれ、準々決勝、決勝と快心のピッチングができました。本当に感謝です。

わがチームの長所は、何といっても「守備

過去120回の決勝での完封勝ちは20チーム程。
塩谷選手は、完投完封しました

レフト三浦選手が捕って優勝の瞬間、ヤッター！

力」。決勝戦21個のアウトのうち、内野ゴロが8、フライアウトが12、そして三振はたった1個です。投手は孤独と言いますが、「みんなが守ってくれる。」と思うと、不思議に勇気が湧いてきます。決勝戦は、緊張よりも仲間と野球ができる楽しさを感じながら投げることができました。来年も勝ち上がって、もっと仲間と野球を続けたいと思います。大会連覇、優勝10回に向けて、頑張ろう!!。

★ベンチ入りメンバー★

吉田　邦彦	小田　秀敏
塩谷　　満	三浦　敏幸
阿部　慎史	渡辺　英樹
青柳　　聡	櫻井　和儀
若狭　茂雄	和田真一郎
引地　栄二	今井　新吾
山科　裕紀	高橋　和則
松島　慎平	小野塚良実